

地震発生

宿直者スタッフ 行動マニュアル

大きな揺れが収まるまで宿直室で待機。

※懐中電灯、マスターキー、携帯を準備、テレビオン。

内階段横の避難口を解放する。

※移動時は廊下側を歩く（食堂上ガラスがあり危険）。

建物に被害がなく避難する事もない場合、上記にて終了し土方に報告。避難が必要な場合下記の通り行動する。

入居者様は避難マニュアルにて避難。入居者一次避難場所は各階エレベーター横ラウンジ。

建物に被害がなく、津波警報発令の場合：

↓
3階に避難

※津波到達時間まで30分以上ある場合：

↓
町役場に避難

揺れが続く場合、3階、2階ラウンジで待機。

各階ラウンジ避難者を、内階段を使用して、一階・階段横の避難扉まで誘導。

※入居者様は一次避難場所の各階エレベーター横ラウンジに避難。

※入居者様の点呼、未避難の入居者様宅へ急行。

※マスターキーにて錠錠し安否確認及び避難指示。

※玄関は使用しない（ガラスであるので）。

建物倒壊の恐れがある場合は避難開始。二次避難場所は駐車場。正確に点呼し避難遅れがないようにする。

※避難遅れがないか必ず入居者様の安否確認をする。

※避難遅れがある場合でも揺れが収まるまでは避難を続ける。
収まりしだい救助に向かう。

自治会、行政の指示に従い安全な場所へ移動。

※入居者・スタッフの安否が確認できれば責任者は本社、自治会との渉外に当たる。

スタッフは入居者様のそばを離れず見守りを続ける。